ICG 蛍光法ガイド下 P4dor 領域温存肝外側区域切除の安全性と有効性の検討に関する研究

1. 研究の対象

2024 年 1 月から 2026 年 12 月までに、術中に ICG 蛍光の確認を伴う肝外側区域切除術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

肝細胞癌と転移性肝腫瘍への根治治療は肝切除ですが、がん薬物療法の進歩により、肝不全の予防と再肝切除率の向上のための肝実質温存肝切除の重要性が増しています。これまで門脈臍部の背側から頭側に伸びる数本の分枝(P4dor)の存在は報告されていましたが、術中にこの P4dor 領域が意識されることはほとんどありませんでした。我々は segment 2+3 グリソンを肝外から一括確保・遮断後に ICG 蛍光法を用いることで、肝鎌状間膜左側に跨る P4dor 領域を描出し確実な温存が可能であることを発見したので、その安全性と有効性について調査します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日から 2026 年 12 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 3 月 10 日

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ情報(病歴、投薬歴、手術時間、出血量、術後合併症、術後病理結果、カルテ番号 等)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部附属病院 外科学講座外科(消化器外科学、小児外科学) 谷岡信寿

TEL:088-866-5811 FAX:0880-66-2111 Mail:tanioka.nobuhisa@kochi-u.ac.jp

研究責任者：

高知大学医学部附属病院 外科学講座外科(消化器外科学、小児外科学) 谷岡信寿

-----以上